



特集

# 「小5 合判模試」<sup>2</sup>

中学入試レポート vol.

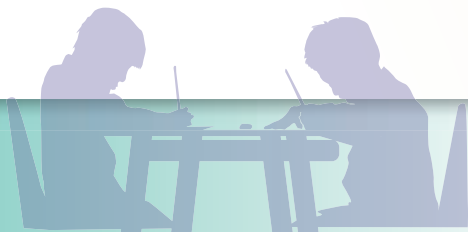
## コロナ時代の学校選び

～学校を知るために、今できること、  
今年だからできること～

コロナ禍収束までの道のりを、私たちは今、歩いています。ワクチン開発が待たれる中でウイルスから身を守り戦うという、初めての経験。この冬の中学受験を目指す皆様からは、「入試がどうなるか不安」という声が上がっています。お子様が5年生以下のご家庭にとっても、説明会等のイベント開催が限定的な状況下、「学校情報をどう収集したら良いかわからない」というのが本音でしょう。学校の立場になってみれば、「我が校の教育を、魅力を、生徒の活躍を、受験生に知ってほしい」という思いはあれども、それをどのようにして伝えたら良いのか、手探りの募集活動が続いています。しかしながら、SNSや公式YouTubeチャンネル、あるいは首都圏模試の合判模試で開催した「おうちde説明会・相談会」のようなオンラインを活用した直接のアプローチなど、この数ヶ月の間に新たな手法が加わった感があります。

私たちが、今、学校を知る術や情報をキャッチするチャンスと手段をご紹介します。今年ならではの、学校の姿や2022年にもつながる2021年入試の動きを見て行きましょう。

首都圏模試センター



## 大学入試改革の現状

大学入試センター試験に代わって始まる2020年度、つまり2021年の1月に実施される「大学入学共通テスト」。この大学入試改革の目玉とも言える三本柱の頓挫に、教育現場は戸惑いを隠せません。

昨年11月、英語4技能の力を測るための英語民間試験の活用が見送られ、さらに12月には国語と数学の記述式導入延期が発表されました。この時点で大学入試改革の三本柱のうちの二本が折れ、生徒の「主体性評価」が残るのみとなっていました。ところがこの7月、「eポートフォリオ」のシステムを担っていた一般社団法人の運営許可が取り消される方針が伝えられ、大学入試改革の最後の目玉が消滅する事態となったのです。新学習指導要領が適用される2024年度の大学入試までの先送りや頓挫、2020年度については2021年1月の入試日程をコロナ禍による学習の遅れの救済措置としての追試験日程を設定するなど、受験生や指導する学校現場の混乱は察するに余りあります。現在小学校5年生の皆さまが大学受験を迎える2028年までに、どのように進んでいくのか、注視しておく必要があります。

しかし、ここで忘れてはならないのは、なぜ大学入試改革が検討されたのかという点です。これからの時代は、これまでの知識・技能だけではなく、新たな課題に気づき、解決策を考えるための思考力・判断力・表現力が必要であるということ。今まさに、コロナ禍という、誰にとっても初めての厄災に直面し、分野を超え協働して解決する力が試されています。これから先も、変わりゆく世の中に新たな課題や変化が訪れることは間違いありません。中高の学びは、大学入試のためだけではなく、いかに学ぶか、

いかに生きるかを考える基礎となるでしょう。

緊急事態宣言発出以降の教育現場の対応を目の当たりにした2020年を境に、学校選びにもパラダイムシフトが起こる可能性もあります。5年生の皆さま方には、従前の価値観を一度リセットして、見つめ直す時間がまだ残されています。今だからこそできることを、一步一步前に進めていきましょう。

## オンラインで、どんな授業があったのか

首都圏模試センターでは、首都圏の私立中学校約200校を対象に、3月～6月の「オンライン活用」についてのアンケートを実施しました(回答94校)。

政府からの休校要請が出された2月28日から土日を挟んだ3月2日には、既にオンラインでの授業やHRを開始していた学校もあり、そこに3月上旬・中旬・下旬にオンライン対応を開始していた学校を加えると、アンケートに回答した学校の20%近くになります。さらに4月中には回答校の約70%でオンラインでの学校活動が始まっていたことが分かりました。回答校の状況から、首都圏私学の約95%で、6月には授業、あるいはHRや面談等の様々な学校活動がスタートしていたことが推定されます。

コロナ以前よりBYOD※に踏み出していた◎湘南学園や●昭和女子大学昭和、すでにICT環境が整っていた◎関東学院六浦、◎工学院大学附属、●富士見など多くの学校は素早い対応に繋がったことも明らかになりました。また採用されたツールや取り組みは様々でも、先生のスキルが上がったことや、環境整備のスピードが上がったという回答もありました。

コロナ禍前後のICT環境の変化について、「生徒・教員のICTスキルが飛躍的に向上しただ

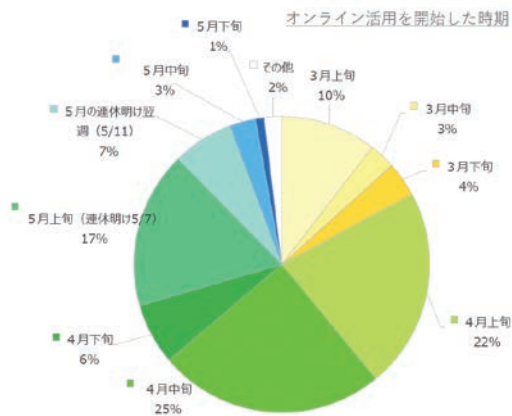
※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



## 特集 コロナ時代の学校選び

～学校を知るために、今できること、今年だからできること～

けでなく、何事にも『とりあえずやってみよう』というマインドセットがより根付いた」(◎工学院大学附属)、「ICT環境、教員の感度の高さ、面倒見の良さがうまく化学反応」(●佼成学園)、「活用事例は大きく増え、今後の教育活動でも対面式授業と併用する場面が増える」(●田園調布学園)といった声からは、学校に新しい風が吹いたことが伺えます。



また、「5～6月の登校再開状況」について行ったアンケートには80校から回答があり、その回答からは感染防止策を講じながらの学校再開、平常授業への移行を模索する姿が浮き上がりました。

このアンケートで登校休止中や再開後の生徒の心のケアについて尋ねたところ、担任からの声かけはもとより、カウンセラーや保健室との連携、個人面談、アンケート実施などの回答が多く見られました。中には、「教員集団が6年持ち上がりなので学年全体でフォロー」(◎桐光学園)、「生徒主催のレクリエーション等を実施」(◎ドルトン東京学園)、「三室(保健室・図書室・カウンセリング室)によるオンライン相談室、バーチャルライブラリー、オンラインランチ会を定期的に行った」(●神田女学園)という例など、授業だけでなく、生徒の心や体

力にも気を配るきめ細かさが現れています。

コロナ禍が浮き彫りにしたのは教育の課題、際立たせたのは危機に直面した時の学校の底力、という印象です。

※BYOD=Bring Your Own Device。個人が所有するスマートフォンやタブレット端末などのデバイスを利用すること

### オンラインを活用し活動の場を広げる中学生

今年は多くのスポーツ大会やコンクールなどの中止に、多くの中高生が涙しました。また国際大会も、高校生模擬国連ニューヨーク大会、数学オリンピックロシア大会は中止、化学オリンピックトルコ大会はオンライン開催など、新型コロナウイルスの感染拡大が世界中に及んでいることを改めて突きつけられました。こうした中でも模擬国連日本代表の高校生たちは、オンラインで最終報告会を開催。広く一般の中高生や教育関係者にも公開されました(要登録)。顧問の先生方が驚くほどの早さと内容で、生徒たちが事務局とともに企画、運営を行ったことは、決して大会参加や代表となることがゴールではないことを教えてくれます。

それは国内外の大会といった派手な舞台に限りません。多くの中高生が、日々の学校生活や行事にも、知恵を絞って可能な限りの事をしようと奮闘しています。

文化祭についても、様々な学校でオンラインでの企画が進んでいるようです。

先だって●獨協が、中止となった学校体験会の代わりに、動画配信をスタートしましたが、文化祭もオンラインでも発表の場を設けるべく準備中だといいます。自校だけではなく複数他校の文化祭実行委員たちとオンラインで会議を開き知恵を出し合いながら、それぞれが自分たちの学校にふさわしい、可能な形を探っているその姿を、先生

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



昨年の台風19号で不通となっていた箱根登山鉄道が、7月23日に全線開通。●函嶺白百合学園の生徒も開通セレモニーに参加しました。3月に卒業した生徒も約1年ぶりに乗って一緒にお祝い!

	月	火	水
1	国語A	英語	受験生応援メッセージ
2	体育	社会	禁烟(数学)
3	理科①	国語②	理科②
お楽しみ	バスケット	サッカー	アーチェリー
紹介	鉄道研究	演劇	化学部

●獨協のオンライン学校体験会扉は「未来の時間割」。

方は温かく見守る……。まさに教科書では学べない体験と言えるでしょう。実は多くの学校で、生徒たちは諦めず、今年だからできることを考え、作り上げようとしています。

●聖光学院のHPには文化祭について、オンラインによる配信等なんらかの形で参加できる企画もあろうかと・・・というお知らせが掲載されていますが、そこに書かれた「内容の変更、時間の短縮、来場者の制限といった苦渋の選択を生徒たちに強いてはならないことは断腸の思いでございます。そして、こうした煮え湯を飲まされながらもなお、前向きに準備を進めようとしている生徒たちを誇りに感じております」という学校としての思いに触れ、熱いものが込み上げます。これはいずれの学校にも共通する思いでしょう。●桐朋は「生徒作成の桐朋祭公式サイトにて、準備風景や参加団体の紹介、さらに当日のライブ中継を行う予定」、●品川女子学院でも「生徒作成のホームページなどWebを通じて学習成果を見ていただく予定」といったお知らせが掲載されています。

多くの文化祭が一般公開中止となり学校に足を運べない今年も、精一杯発表の場を設けている生徒の姿に、ぜひ触れていただきたいと思います。

もちろんオンラインでの一般公開もない学校でも、非公開を選んだことに考えがあり、生徒が頑張っていることを、どうぞ忘れないでください。

## コロナ禍がもたらした教育への期待

新型コロナウイルスの感染状況は日毎に変わり、そのたびに対応を見直しながら、正解のない課題の解決策を探す努力をしています。こうした社会情勢の中で、様々なことを一生懸命考え、行動しようとする中高生の姿や、それを支える学校の姿勢は、私たちに教育への期待をかきたてます。

冒頭では、オンラインの授業への活用状況をデータでお示しましたが、ここでは授業や授業以外で行われた実践をいくつかご紹介します。

●北鎌倉女学園では、4月から6月にかけて同校の中高生が、オンラインで行われた国語や道徳の授業の中で書いた作品を、作文集『with コロナの時代にわたしたちが考えたこと』にまとめました。「非常事態における音楽の意義」(音楽科高2)、「私たちが今回、コロナに立ち向かうとしてSDGsの何番が、効果があると思いますか?」(中1)、「コロナ後、日本のインバウンド政策について」(高2・3)など、今の状況を嘆くだけでなく、今後を見つめる学びが再開されていることに励まされます。

●鎌倉学園のESSは、訪日外国人向けの鎌倉案内をZoomを使って行い、さらにそれを発展させたオンラインツアーも企画。◎聖徳学園では、「こんな期間だからこそ、普段会えない人に会う、話せない人と話す、知らないことを知る」という目的で、Zoomを使ったオンライン講座を4月に立ち上げ、6月までに11回行われました。教員が若い頃の体験を話したり、在校生が取り組んでいるプロジェクトを紹介したりするだけでなく、大学教授や環境活動家も講師として登壇し、自由闊達な討論の場ともなったことが伝えられています。

海外研修の代替としても、研修先となるはず

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



●サレジオ学院では、オンラインで生徒会役員選挙を実施。事前に、公民の先生による選挙心得や候補者の「政見放送」も動画で配信し、国政に先んじての電子選挙。



だった国の生徒たちとディスカッションするなどしてオンラインが活用されています。国際教育、グローバル教育とは、英語を学ぶことや現地に行くことだけが目的ではないという基本的な考え方を再確認することができました。

◎ドルトン東京学園や◎湘南学園などでは、学校図書室からの「本の郵送貸出し」が行われました。●湘南白百合学園では、昨年から稼働していた「電子図書館」が休校中も開館して、生徒にも大好評。

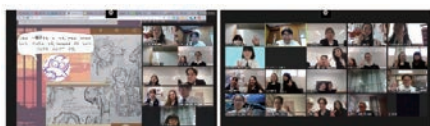


写真1



写真2

●和洋九段女子では、オーストラリア研修の代わりに、姉妹校生徒とZoomで交流。新型コロナウイルスや森林火災についてもセッション

毎週日曜日の朝に礼拝を配信したのは●玉川聖学院。登校できない期間でも、生徒の心に語りかけることをやめませんでした。キリスト教学校らしい対応と言えるでしょう。

様々な人々が、それぞれの立場で生徒の学びを守る取り組みを続けていた私学に対する期待が高まったのも頷けます。

## オンラインでの広報活動が始まった

これまでは学校によっては、入試がひと段落する2月中旬以降、新6年生以下に向けての広報活動が始まっていました。今年は、新型コロナウイルスの影響により、イベント開催は見送り、登校停止で、春に文化祭など公開行事を行っていた学校では延期や中止を余儀なくされました。行事がない、学校も従来の広報活動は

行えない、無い無い尽くしと思われましたが、各校のサイトやSNSから、オンラン授業が始まったことや教材発送の様子などが学校からリアルタイムに発信され、さらに授業が軌道に乗る頃には、公式YouTubeチャンネルでの情報発信も徐々に広がっていきました。

●三輪田学園は学校説明会をYouTubeで4月18日に配信。25日には、◎かえつ有明、◎文化学園大学杉並が、自宅からZoomを使って参加できる個別相談会を開催。この日には◎開智のYouTubeライブ配信、●女子聖学院の説明会動画配信も。●聖学院、◎宝仙学園共学部理数インターはZoom学校説明会を開催し、後半を相談会形式で開催するなどの機動力を発揮しました。●山脇学園も「在宅個別相談会」を4月29日から実施。5月に入ると、オンライン説明会・相談会は首都圏の私学に広がり、●佼成学園女子は、「KOSEI受験生応援プロジェクト」と銘打ち、オンライン説明会、個別相談会や、部活動フェスタ、「自宅で佼成女子ダンス部を体験！」など、続々と企画を繰り出しました。いずれも自宅から、パソコン、スマホ、タブレットを使い、学校の先生と直接話せる（話を聞ける）とあって、情報を渴望していた受験生が参加しました。

当時（といってもほんの数ヶ月前ですが）、一般家庭ではZoomやGoogle Meetをはじめとしたオンライン会議システムは、現在ほど抵抗なく使われているとは言えませんでした。受験生への情報発信も止めないためにツールが活用されたのは自然な成り行きでした。

回を重ねるごとに、夏前までには工夫やチャレンジが加わって“進化”したことも、受験生にとってうれしいことでした。例えば、●サレジオ学院のオンライン個別相談会は、日時の指定に加えて、広報の先生方が担当する教科や部活動を紹介し、

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



相談者側が相談する先生を選べるようになっていきます。今年の●聖学院・レゴキング選手権はオンラインで開催されました。事前に与えられたテーマに沿った作品を提出し参加者同士が作品を紹介。続いて当日明かされた第2テーマに沿って作品作りディスカッションという流れ。また、●昭和女子大学昭和はオンライン理科実験体験を8月に実施。●聖セシリアのオンラインオープンキャンパスには、生徒や先生が登場し自宅でできる実験や実技も紹介されており、学校生活の一端を伺うことができます。ぜひ活用してください。

## 学校を知る機会・手段・視点

本稿を書いている8月初旬の時点では、9月以降の学校説明会は大きく分けて、人数限定など感染防止対策を取った上で学校での開催、オンラインで開催、残念ながら中止というように、学校ごとの判断が分かれている状況です。

細かく見れば、学校での開催は予約制、オンラインも併設、個別相談会をこまめに開催、中止の場合も動画配信など（●立教女学院、●聖光学院、●筑波大学附属駒場など）、対応は学校ごとに異なります。外部団体の行う合同相談会も、ほぼ人数制限ありの予約制だと考えておくのが賢明です。

ですが今年はここまで見てきたように例年にない数とスピードで、多くの学校が動画配信を行っています。公式のLINEアカウントやYouTubeチャンネルの開設が一気に増えました。まずは、様々な学校の動画を視聴し、各校の教育理念や教育内容、特徴を掘むとよいでしょう。

すでにこれまで何度か学校説明会に足を運んだり相談会に参加したりしている方は、そこで得た学校をみる視点を再確認しましょう。昨年までの学校選びの視点の優先順位に変わりはない

でしょうか。昨年まで見逃していた学校をみる視点を発見したということはないでしょうか。

一方では、今年から学校に足を運んで、考えて行きたいと思っていたご家庭も多くいらしたのではないかと思います。今の、自宅で時間を選ばずに動画やライブ配信を見ることができる状況を活かさない手はありません。

首都圏模試でも模試開催日に合わせて、「おうちde説明会・相談会」を開催します。教科教育、グローバル教育、探究活動など、気になるポイントだけを選んでいいでしょう。例えば登校停止中のオンライン対応の違いは、生徒にとってこれが良いと判断した理由がきっとあるはず。それぞれの学校のICT環境などの事情が影響するのは否めませんが、そこににじみ出る各校の姿勢を感じ取っていただきたいと思います。

さてオンラインであろうがリアルであろうが、学校をみるベーシックな視点は改めて押さえておきたいところです。

そのひとつが「教育理念」です。

様々な背景を持って生まれた私学ですが、共通するのは、「建学の精神を持つ」ということ。創立者の願いを、どのように“現在化”し、具体的な教育を行なっているか、それを見極めることが、学校選びの原点と言えるでしょう。◎東洋大学京北の校祖井上円了は哲学者。現在「哲学入試」を行なっていることは、ルーツと無関係ではありません。帰国生が学ぶ場として創られた◎啓明学園は、現在でも在校生の4割が海外生活経験者という環境です。このような教育理念と教育内容は私学らしさの大きな特徴です。それぞれの学校の個性に着目しましょう。

教育内容・プログラムにも大きな影響をもたらす学校の属性も押さえない点です。

例えば男子校・女子校・共学校の違い。明治から大正時代にかけて創立された多くの私学

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



●大妻中野では、この4月、グローバル教育を推進する専門部署、「グローバルセンター」が立ち上がりました。



# 特集 コロナ時代の学校選び

～学校を知るために、今できること、今年だからできること～

が、男子校、女子校という別学で始まりました。時代を反映して裁縫や商業系の学校として誕生した女学校も、社会の変化に伴い、高等教育（大学）へつながる教育を行う学校へ変わっています。性別を超えた働き方、生き方が広く認められつつある現在、別学の意義も変化していると言えます。それでもなお男子らしく、女子らしく、という決めつけから解放され、興味関心に素直に向き合えるのは、別学の変わらぬ大きな魅力です。また大学附属校、進学校という視点



女子校には●吉祥女子、●昭和女子大学和(左)、●トキワ松(中)、●藤村女子(右)など、パンツスタイルを選べる制服もある

も、6年間という時間軸に大きな関わりをもつポイントでしょう。

学校選びの視点は、お子さまにどのような中高時代を過ごして欲しいか、その先、どのように生きてほしいかを考えることに通じます。また中学受験のきっかけになった学校は一つかもしれませんが、入試に際しては、一校だけでなく複数の学校で併願を組んで臨むのが一般的です。人生を長期的な視点で考えれば、中高時代は様々な可能性を考えるきっかけとなる体験ができる、貴重な時間。その時間（学校）を自らの視点で選択するために、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーまで視野を広げ、選択肢を広く柔軟に考えられる学校選びを考えていきましょう。

今だからできること、今年だからできること、すぐそばで皆様を待っています。

## \*\*\*\* 私学トピックス \*\*\*\*

### 巣鴨、WLSA加盟

●巣鴨が、WLSA（ウルサ）に日本の学校として初めて加盟することが決定しました。WLSAの国際教育プログラムへの参加や加盟校との交流により、同校の国際教育が一層充実することが期待されます。

WLSA (World Leading Schools Association) は、Eton College や Harrow School など世界の中等教育を代表する学校を中心に設立された国際組織で、加盟には全加盟校の賛同が必要。

### 私学関係者の書籍が出版されました

『でさちやいました！ フツの学校』（富士晴英とゆかいな仲間たち著/岩波ジュニア新書）

◎宝仙学園共学部理数インター校長の富士晴英先生と“ゆかいな仲間たち”による一冊。「中学校・高等学校というところは、発展途上の子どもたちや青年たちが、葛藤している現場」と語る校長が、ひとつのめざして受験生を測る発想をやめたとき、日本一入試方法の多い学校になりました。



## 2021年入試情報

入試期に、新型コロナウイルス感染の状況がどうなっているか、今は予測が付きませんが、各校では「受験機会」を確保すること、withコロナの状況下での実施となることを前提に、入試要項などを発表し入試に向けた準備を進めています。実際の対応は秋以降に本格化すると思われますが、現時点での現6年生が受験する2021年入試情報から、2022年にもつながる変化、入試の潮流を俯瞰しておきましょう。(8月4日現在判明分から抜粋)

### ◆オンライン入試の導入

オンライン入試を検討もしくは今後検討とした学校は、冒頭のアンケートでは約50%でしたが、その後の状況の変

化などから、オンライン入試実施に踏み切る学校もあります。

●中村:オンラインで実施する「国算エクスプレス入試」(自分の言葉でエクスプレス=表現する入試)を2月2日午後新設。ポテンシャル入試の面接は本校受験かオンライン受験かの選択可。

◎秀光:1月11日の秀光入試II(1次試験4科、2次試験面接)について、2次は自宅でのオンライン面接で実施。ただし、新型コロナウイルス流行状況により1次試験もオンラインで自宅受験とする。オンライン入試となった場合、1週間前に接続テストを実施。1次試験のみ受験は検定料無料。※2021年4月、秀光中等教育学校前期課程を秀光中学校へ組織改編予定

次頁へ続く↑

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



6月から約半年の予定で、●豊島岡女子学園、●巣鴨、●立教池袋の先生と生徒たちによる「中高生のための書店」が、ジュンク堂書店池袋本店6階特設会場にオープンしています。各書籍に添えられたコメントも必見。

前頁より続く

- ◎昭和学院：1月20日午後算数1教科入試（※オンラインでも実施）。
- ◎成立学園：ナシヨジョ入試をオンラインで実施
- ◎新渡戸文化：新設の「好きなこと入試」にオンライン方式を併設（事前課題作文・口頭試問・面接）。

帰国生入試では、海外在住で一時帰国が難しい状況への配慮から、オンライン入試の導入が積極的に見られます。

- 佼成学園：オンライン帰国生入試を実施。作文（出願時に提出）と面接（オンライン面接・受験生のみ）で、4回設定のうち受験できるのは1回のみ。
  - 田園調布学園：帰国生入試の日程を前倒しし12月6日へ。海外在住者はオンラインでの受験を設定
  - ◎文化学園大学杉並：帰国生海外入試（アジア・オセアニア入試および欧米入試）をオンラインで行うことを決定。アジア・オセアニア入試は10月11日、欧米入試は11月8日。国語・算数・英語（資格による得点換算）・面接で実施。この他、●実践女子学園、●湘南白百合学園、●山脇学園、●聖徳学園もオンラインで帰国生入試を行うことを公表。
  - 静岡聖光学院、◎かえつ有明、◎ドルトン東京学園、◎啓明学園でも帰国生入試（国際生入試）のオンライン実施を検討中です。
- なお帰国生入試については日程の前倒し傾向や日程追加も見られます。

◆出題範囲の配慮

- 立教女学院、◎日本大学第二、◎東京学芸大学小金井は、小学校の休校状況を踏まえて、出題範囲に関する配慮を発表。

◆その他、コロナ対応など

- 桜蔭：保護者面接は実施しない。
  - ◎栄東：1月10日、12日は登校時間を2グループに分散。会場は本校・埼玉栄・栄北。本校グラウンドを駐車場に開放。
  - ◎神奈川県中等教育学校（相模原・平塚）：グループワークについて、「新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じて適切に実施することが困難」とし、実施しないことを決定。
- またWEB出願のほか、合格発表のWEB化（掲示発表との併用から一本化への変更も含む）も、一気に導入が進みます。Web出願の導入は、●桜蔭（予定）、●東洋英和女学院、◎筑波大学附属（予定）、●横浜雙葉など。合格発表のWeb化は、●開成、●本郷、●桜蔭（予定）、●恵泉女学園、●東洋英和女学院、◎武蔵野大学、◎日本大学藤沢、◎筑波大学附属（予定）など。

◆視聴型など新タイプ入試にも新風。英語、算数1科目の導入も続く

- 海陽中等：入試Ⅱは「算数・視聴型総合問題または算数」、入試Ⅲは「算数・視聴型総合問題」で実施。「視聴型総合問題」は、「国社理の内容含む。人の話を聞いて理解し、自分の考えを表せるコミュニケーション力を測る入試」
- 静岡聖光学院：1月10日にプログラミング入試、英語入試新設
- 実践女子学園：2月1日・2日に思考表現入試新設。思考力+プレゼンで実施。
- 清泉女学院：2月2日午後算数1科型入試新設。一期の面接廃止。通知表コピー不要。
- 日本大学豊山女子：2月2日午後算数1科型入試 [プレゼン] 型入試（テーマ選択・情報收拾・まとめ・発表）を、プレ

ゼンテーション [課題発見] 型入試 (プレゼンテーション・質疑応答) に。

- 藤村女子：2月1日午前に「ナゾ解き入試」(謎検型・脱出ゲーム型 計50分の問題解決) を新設。
- ◎東京立正：自由研究SDGs入試 (仮称) を新設。

◆2021年度の新クラス・コース開設、共学化、中学開校など

- ◎芝浦工業大学附属：共学化。入試では、国語・算数に聴解問題を、また言語技術入試を導入。
- 佼成学園：グローバルコース開設。
- 聖学院：高校に、「Global Innovation Class」を新設（高入生15名、内進生15名）。教育の柱は「Immersion」「STEAM」「PROJECT」。
- 世田谷学園：「本科」と「理数」の2コース制を導入。
- 本郷：高校募集停止。
- 昭和女子大昭和：スーパーサイエンスコースを1年次から募集スタート。
- ◎開智：先端4コース編成に。【先端IT】【先端MD】【先端GB】【先端FD】。
- ◎聖徳大学附属女子：共学化。新校名は「光英 VERITAS (ヴェリタス) 中学校・高等学校」。
- ◎日本大学藤沢：併設小学校からの内進初年度に当たり、定員変更。
- ◎広尾学園小石川：中学開校（村田女子から校名変更 & 共学化）。本科コース40名、インターナショナルSGコース40名、インターナショナルAGコース40名を募集。

◆日程・科目変更など

- 2021年入試でも日程、科目の変更が見られます。
- 獨協の2月1日午後入試新設（2科）、●吉祥女子の入試回数を3回から2回への変更もあります。
- ◎桜美林の2月3日午後は算数1科目入試、◎神奈川大学附属は第1回を2月1日午後（2科）に実施。
- ◎啓明学園は2月1日午後英語1科目入試新設。
- ◎東京電機大学は2月1日午後入試を国語または算数いずれか1科目選択に、◎東京農業大学第一は2月1日午後入試を算理または算国に変更。定員比、集合時間にも変更あり。

◆国公立の科目変更・中高一貫化

- ◎お茶の水女子大学附属：従来の4科目入試から「入学検定：検査Ⅰ、検査Ⅱ、検査Ⅲ」に変更。
- ◎筑波大学附属：8教科（全教科）から4科目（国算社理）に変更。
- ◎都立富士、都立武蔵（併設型一貫校）の高校募集停止。
- ◎茨城県立高校：水戸第一（併設型）、土浦第一（併設型）、勝田（ひたちなか地区中等教育学校）の中高一貫化。2019年は太田第一、鹿島、下館第一、鉾田第一、竜ヶ崎第一。
- ◎川口市立高校附属：中学開校。

2022年入試の変更点

- 豊島岡女子学園：高校募集停止
- ◎江戸川取手：2022年に受験生全員、英語必須（英語を含む5教科入試）とする。
- ◎千葉市立稲毛中学校・高等学校：2022年から段階的に高校募集を停止し段階的に中等教育学校へ改編。
- ◎都立両国、都立大泉の高校募集停止。白鷗は時期未定
- ◎茨城県立高校：水海道第一、下妻第一が中学を開校し中高一貫化。

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



●佼成学園女子のスーパーグローバルクラス4期生は、高3ロンドン研修の代替措置として、ロンドン大学SOAS校による3週間のオンライン講義を受講し、全ての講義課程を修了。